

黒浜貝塚：縄文の森復元計画（案）

※土が落ち着き次第、計画的に各エリアに食用植物を植栽し、環境学習に役立てると共に、災害時の植物としても活用する予定です。

低地の生活の場エリア

現状	・ヨシ群落の密生 ・水路に沿ってアカメヤナギ群集が成育
植生変更	・ヨシ群落の除去と盛土による陸地化及び「自然傾斜地形」の造成。 ・アカメヤナギの伐採、除去。 ・低地の縄文の森の復元（クルミを含む）。
新植樹種	【高木】ヤマザクラ・イヌザクラ・マユミ・ウミズクラ等 【低木】コムラサキ・ヤマハギ・ニシキギ・ヤマブキ・ガクアジサイ等 【食用下草類】ヨモギ・オギ・カンゾウ（ヤブカンゾウ、ノカンゾウ）・ワレモコウ・ノビル・イタドリ・ミツバ（ウマノミツバ）・ゼンマイアケビ・カラスウリ・サルナシ等

水辺の生活の場エリア（ヨシカササグ群落の保全管理）

現状	・ヨシ群落の密生 ・水路に沿ってアカメヤナギが成育
植生変更	・ヨシ群落周囲にネットや杭を設置し、群落の拡大を抑制管理する。 ・カササグ群落を育成・保全する。 ・水面を確保し、水鳥の営巣などにも配慮する。

JR東北本線の遮蔽

現状	・線路脇のフェンスに沿って生垣を植栽し園内から線路方向の視線に対し緩衝させる。
新植樹種	【中木】イヌマキ・マサキ等

ランドマーク植栽

植生変更	・自然傾斜地形をステージに見立て、対岸からの景観を意識したランドマークとなる縄文の水辺植栽。
新植樹種	【高木】オニグルミ

縄文の海エリア

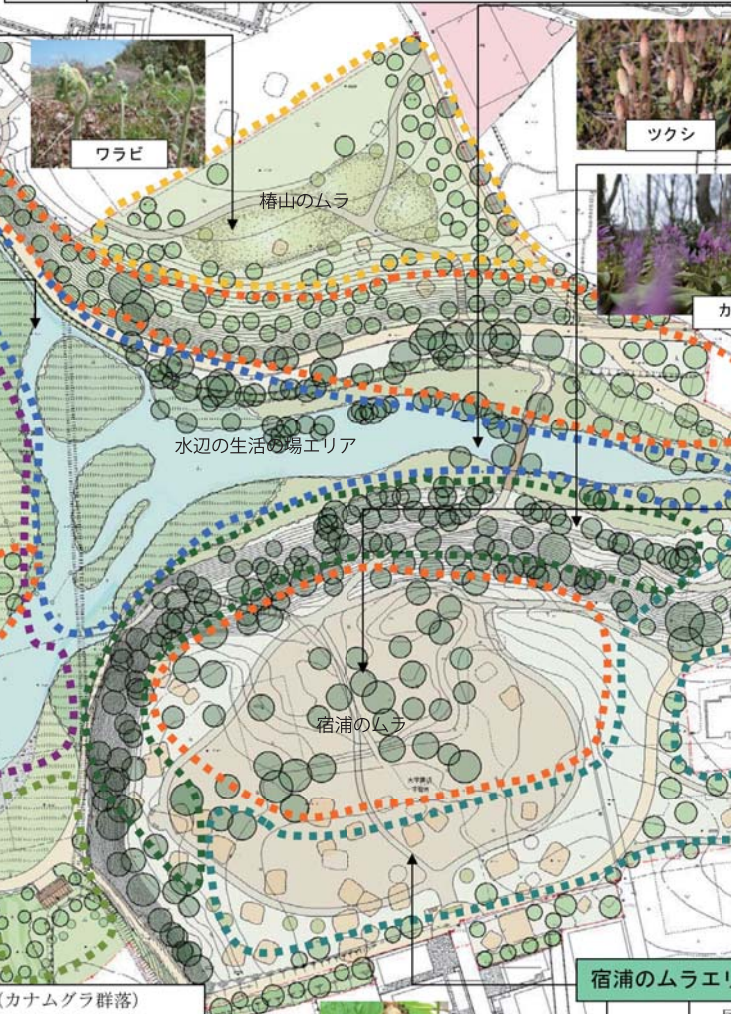
現状	・水路に沿ってアカメヤナギ群集が成育。 ・草地化が進んでいる（カナムグラ群落）
植生変更	・アカメヤナギの伐採、除去。 ・彩りのある海浜植物により、縄文の海（浜辺）をイメージさせる低層植栽。
新植樹種	【低木・地被】ハマナス等 【草地植物】ツツジ・ハマヒルガオ・ハマゴウ等



※本整備計画は、平成31年度完成を目指していますが、あくまでも計画であり変更されることもあります。

榑山のムラエリア（斜面林含む）

現状	・モウソウ竹林が繁茂し、南側斜面にはクスギ、エノキを主とした落葉樹林が成育。
植生変更	・縄文の森の復元。斜面部はコナラ垂葉を主体とした落葉広葉樹林の植栽。「黒浜貝塚低地部地質調査及び自然科学分析業務委託 H20」より ・台地上部は市役所南側一帯に広がる「アカマツ林」と連続する森として、アカマツの植林を行う。 ・市民参画による苗木の植栽や市民による「ドングリの森」の育成管理。また、植物で「学び」ができる植生の展開。
新植樹種等	【高木】アカマツ・コナラ・ケヤキ・ムクノキ・トチノキ・カエデ類・クリ・エゴノキ・シノキ等 クリ移植 【中低木・地被】ヤブツバキ・サザンカ・グミ・ガクアジサイ・カタクリ等 【食用下草類】ワラビ・ゼンマイ・フキ・ツクシ・タラノキ・ヤマノイモ（ムカゴ）・ウド等



水辺の生活の場エリア（湧水池の再生）（ハンノキ林の復元）

現状	・ハンノキ林の生育不良・枯死、水面底位化による河畔の植生変化
植生変更	・水面復活や日照確保による縄文時代にも存在したハンノキ林の植栽・復元・再生。カササグ群落の保全。 ・抽水植物、浮葉植物、沈水植物の再生・復元。
新植樹種	【高木】ハンノキ 【中低木・地被】コムラサキ・ガクアジサイ等 【水生食用植物等】セリ・タビラコ（コオニタビラコ）・ミツバ・ミクリ・マコモ・コガマ・ヒシ・ヒツジグサ等

宿浦のムラエリア（斜面林）

現状	・シラカシを主とした常緑・落葉混交林が主体。 ・針葉樹（スギ）の混生が多く見られる。
植生変更	・原則的に斜面林（高木）は残存させ、部分的に成育しているメダケ類は残す。 ・林床の灌木は除去し、見通しを確保する。
新植樹種	【中低木】ヤマブキ・ヤブデマリ等 【食用下草類】クワ・サンショウ・サルナシ・アケビ・クサイテゴ等

宿浦のムラエリア（台地上部）

現状	・シラカシ林を主体に針葉樹、落葉樹が混交する。
植生変更	・針葉樹、折れ、生育不良木の伐採除去。縄文住居跡上部樹木の伐採 ・花粉分析による古植生に合わせた既存林の間引き整理。《台地上丘陵地》モミノキ、アカマツ、コナラ、クリ、エゴノキ、シラカシ、オニグルミ等による縄文の森復元。「平成20年度湧水保全・復活活動支援モデル事業第2編 運田市」より
新植樹種等	【高木】クリ移植（外周部へ） 【中低木】グミ・ムラサキシキブ等 【食用下草類】オケラ・ヤマノイモ・ワラビ・オミナエシ・イタドリ・キキョウ・カワラナデシコ・ヤマユリ等

宿浦のムラエリア（外周部）

現状	・民家跡であり、撤去後の更地となっている区域と、人為的な造成地となっており、既存樹木は乏しい。
植生変更	・花粉分析による古植生樹種を主体に、ムラを囲む樹林地を再生させ、縄文の森を復元。 ・高速道路、民家に対する緩衝緑地機能を持たせる。
新植樹種	【高木】ヤマモモ・シラカシ・スダジイ・アラカシ・ヤブツバキ等

民家隣接部緩衝緑地

現状	・草地化が進んでいる（カナムグラ群落）
植生変更	・南側隣接民家の緩衝植栽。常緑樹の植栽。 ・トイレ棟周辺には、住宅地との緩衝機能を花による修景や香りのある植物の植栽を検討。
新植樹種	【高木】ヤマモモ・シラカシ・アラカシ・ヤブツバキ等 【低木・地被】ツツジ類・ヤマハギ・ヤマブキ・ハコネツギ等



※本図は、「黒浜貝塚整備基本構想」を基本に作成した計画（案）となります。